

災害時の液体ミルクの使用について

近年、全国各地で土砂災害や地震などの自然災害が発生しています。災害が発生すると、自宅の倒壊等により避難所で生活することになるほか、バス・電車などの公共交通機関の停止により、外出先から帰宅できない場合があります。

慣れない避難所での生活や災害のストレスなどにより、乳児に必要な量を授乳できない可能性があります。必要に応じて、母乳代用品として、液体ミルクを検討することも大切です。

大規模災害発生時には、電気・水道・ガスが止まってしまい、粉ミルクの調乳ができない場合があります。滅菌処理をしてあるため、開封して哺乳瓶に移し替えるだけで飲ませることができます。

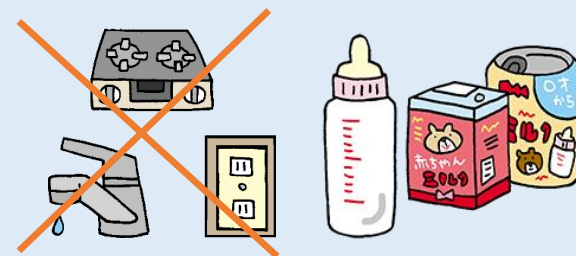
★水に溶かしたり、温めたりすることなく授乳できる

★哺乳瓶に移し替えるだけで授乳できる

★滅菌処理済みで衛生的

★栄養成分はほぼ粉ミルクと同じ

★調乳に必要な水や火（カセットコンロ等）を持ち運ばなくていい



使用、備蓄時の留意点

★直射日光の当たるところや車内などを避け、常温（おおむね25℃以下）で保管しましょう。

★飲み慣れていないミルクを飲ませると、乳児が拒否することがありますので、液体ミルクを拒否しないか、確認しておくことも必要です。

★液体ミルクの賞味期限は6か月から18か月程度です。授乳前には必ず賞味期限を確認しましょう。

★消毒した哺乳瓶や乳首がない時は、使い捨て紙コップや熱湯消毒したスプーン等を使用しましょう。（消毒できない時は清潔な水で洗い流してから使用する）